

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書(Web 公開用)

申請者(ふりがな)	新谷 里々花(しんがい りりか)
所属・資格(※学生の場合は課程・学年を記載)	人間科学研究科 修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2022 年 6 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本展示学会 第 41 回研究大会
発表者(※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	新谷里々花 柴田卓弥 佐野友紀
発表題目(※学会発表の場合のみ記載)	VR 環境を用いた鑑賞者を含む展示空間の再現方法と混雑感評価
発表の概要と成果(抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。) 【背景・目的】建築計画の分野における展示室の利用者評価を行うこれまでの研究では現地での鑑賞者の行動・動線や人数を測定する調査方法がとられてきた。実空間での調査におけるデメリットとして美術館ごとに展示室内の構造が違うこと、また鑑賞者の在室人数を段階的にコントロールできないことなどが挙げられる。そこで、展示室内の展示配置や鑑賞者の在室人数をコントロールしながら実験を行う方法として、VR 環境を用いて展示室を再現する方法を検討したい。 本研究の目的は、VR 環境による展示室を用いた被験者実験により、美術館等の展示空間において他の鑑賞者密度の違いによって生じる混雑感を明らかにすることである。また、VR 環境による展示室の再現方法の可能性を検討する。 【方法】本調査では単純な形式の展示室を VR 環境により再現し、被験者に空間を体験後、混雑感を評価してもらった。 【結果】今回の実験において、鑑賞者密度を高くしたところ混雑感が高く評価されることを VR 実験により確認した。VR 環境による展示室評価実験の有効性の確認を進めることで、観覧状況をパラメトリックに変化させた実験条件により詳細に検討できることが期待される。	

※無断転載禁止